

アジア・アフリカ学術基盤形成事業「アジア大都市周辺の環境・防災問題解決に寄与する湿地・植生バイオシールド工学の展開」関連討論会
(兼埼玉大学環境科学研究センター セミナー)

「東北地方太平洋沖地震津波による被害から見えた海岸林整備に関する今後の課題」

目的

2004年のインド洋大津波、2011年の東北地方太平洋沖地震津波は、スリランカ、日本それぞれの沿岸地域に甚大なる被害を及ぼした。それらの被害調査から、沿岸域に整備された海岸林の効果や限界に関する多くの知見が得られつつあり、今後の減災対策や街づくりに活用していくことが期待されている。そこで、本討論会(セミナー)では、海岸林に関する社会的、技術的な背景や現状と課題について、さまざまな専門的な知見から議論を進め、今後の効果的な海岸林整備に必要な点を明確にすることを目的とする。なお、本セミナーはアジア・アフリカ学術基盤形成事業「アジア大都市周辺の環境・防災問題解決に寄与する湿地・植生バイオシールド工学の展開」により実施される。

日時と場所

日時：2013年3月21日(木) 13:00-16:35

場所：埼玉大学 (理工学研究科棟 7F 国際セミナー室)

主催：埼玉大学環境科学研究センター(後援：日本学術振興会「アジア・アフリカ学術基盤形成事業」)

プログラム

司会進行(古里栄一：埼玉大学大学院・助教)

13:00-13:05 田中規夫(埼玉大学環境科学研究センター・社会環境学部門長・教授)

あいさつ：趣旨説明

13:05-13:25 八木澤順治(埼玉大学環境科学研究センター・助教)

東北地方太平洋沖地震津波における海岸林の被害と破壊限界

13:25-13:45 鈴木一貫(埼玉大学大学院・博士前期課程1年)

海岸林の減災効果(長所)と流木の家屋衝突により生じた付加抵抗(短所)の定量的比較

13:45-14:15 田中規夫(埼玉大学環境科学研究センター・社会環境学部門長・教授)

東北地方太平洋沖地震津波において海岸林が果たした役割と今後の多重防御システム

14:15-14:30 休憩(15分間)

司会進行(八木澤順治：埼玉大学環境科学研究センター・助教)

14:30-15:00 坂本知己(独立行政法人森林総合研究所・気象害・防災林研究室室長)

津波を想定した海岸林の整備と課題

15:00-15:30 佐々木寧(埼玉大学・名誉教授)

東日本大震災を踏まえた海岸地域のランドデザイン

15:30-15:40 休憩（10分間）

15:40-16:30 パネルディスカッション（それぞれの報告を受けて）

- ・ 多重防御システムとしての海岸林・街路樹・屋敷林の役割
- ・ 海岸林整備に関する今後の展望と課題
- ・ 海岸地域のランドデザインを推進する上での展望と課題

16:30-16:35 田中：おわりに：終了挨拶

セミナーに関する問い合わせ先：

担当：八木澤 順治

yagisawa@mail.saitama-u.ac.jp